

平成 23 年 8 月 29 日

**OECD 幸福度に関するアジア太平洋コンファレンス**  
**Asian-Pacific Conference on Measuring Well-Being and**  
**Fostering the Progress of Societies**

1. 目的：OECD は社会の様々な活動の成果である幸福度・社会進歩を、包括的に描く経済・社会・環境指標群を開発するための世界的プロジェクトを推進している。本コンファレンスは、そのプロジェクトの中心である世界フォーラム（次回 2012 年 10 月インド開催予定）を支える地域コンファレンスであり、新成長戦略に掲げられている新しい成長、幸福度に関する測定作業の推進、国際的な展開を図るものである。
2. 日程・場所：2011 年 12 月 5 日（月）、6 日（火）、政策研究大学院大学（東京都港区六本木）
3. 主催：内閣府経済社会総合研究所(ESRI)、経済開発協力機構(OECD)、アジア開発銀行(ADB)  
協力：国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、韓国統計局(KOSTAT)
4. 参加者：250 名程度（豪、NZ を含むアジア各国 200 名、国内 50 名）
5. 発表者、討論者：OECD 事務局、OECD 加盟国、アジア（中国、韓国、インド、ブータン等）の統計・学会関係者。
6. 議事案：物質的幸福（格差、雇用、住居）、生活の質（統治と参加、年齢・ジェンダー、自然災害）、主観的幸福（主観的幸福の測定、社会的関係、時間利用）、アジアにおける幸福度測定作業と公的統計の課題など。
7. 関連会議：第 4 回世界フォーラムに先立ち、ラテンアメリカ地域会議が本年 5 月（メキシコ）に開催されたほか、アフリカ地域会議が 2012 年春（モロッコ）、欧州地域会議が 2012 年夏に開催される予定。